

第4節 地域包括ケア推進課

〔総括概要〕

地域包括ケア推進係では、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域の多様な主体が連携して、医療、介護、予防、住まい及び生活支援のサービスを切れ目なく一体的に提供できる地域包括ケアシステムの構築に向けて、介護予防・日常生活支援総合事業、在宅医療・介護連携の推進、地域見守りネットワーク構築、認知症施策の推進及び地域ケア会議の推進等の施策に取り組んだ。

また、認知症高齢者等及びその家族が安心・安全に生活することのできる環境を整備するため、認知症高齢者等SOSネットワークを中心とした認知症にやさしいまちづくり事業を実施した。

更に、地域共生社会の実現に向け、栃木市福祉総合相談支援センターを構成する相談機関等との連携により重層的支援体制整備事業を実施し、複合的な課題を抱える世帯等への相談支援や社会参加へ向けた支援を実施した。

地域包括支援センターでは、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として、介護予防事業・包括的支援事業等に取り組んだ。

地域包括ケア推進係

1 軽度生活援助員派遣事業

日常生活に支援が必要な、おおむね65歳以上のひとり暮らし又は高齢者のみの世帯で、かつ市民税非課税世帯の方に対し、軽易なサービスを提供する軽度生活援助員を派遣した。サービスの提供は公益社団法人栃木市シルバー人材センターに委託した。

・実利用者数 (単位：人)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実利用者数	159	174	182

・延べ利用時間数 (単位：時間)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
家屋内の整頓、その他軽易な援助	1,586	1,433	1,305
草取り	2,830	2,834	2,657
草刈り	—	281	271
植木の剪定、大工・塗装	1,587	1,486	1,162
合計	6,003	6,034	5,395

2 生活支援サービス事業（配食）

在宅で生活するひとり暮らし等の高齢者に対し、健康保持と福祉の増進を図るため、

昼食弁当（1食300円）を宅配し、併せて安否確認を行った。

- ・対象者 65歳以上のひとり暮らし又は高齢者のみの世帯、これに準ずる世帯で調理困難な方。

・宅配利用者数・個数

	令和5年度	令和6年度
事業	生活支援サービス事業 (配食サービス)	生活支援サービス事業 (配食サービス)
合計利用者数（人）	910	926
合計個数（個）	100,016	103,306

- ・宅配業者 （有）ききょう、まごころ弁当栃木中央店、まごころ弁当鹿沼店、
（株）トレンド、（株）シニアライフクリエイト、ワタミ（株）
（福）スイートホーム（令和6年12月まで）

3 地域安心安全事業

(1) 栃木市地域見守り事業に関する協定

高齢者の日常生活の異変等を発見した際に、市へ連絡できる体制を整えるため、栃木市内で営業活動を行う民間事業者を対象に「栃木市地域見守り事業に関する協定」を締結した。

- ・協定締結事業所・団体数 67 事業所・団体
- ・協力営業所・店舗数 366 営業所・店舗

(2) 緊急医療情報カプセル配付事業

65歳以上のひとり暮らし、高齢者のみの世帯等で希望された世帯に対し、緊急時に必要な医療情報を専用の容器（カプセル）に入れて冷蔵庫に保管しておき万が一の事態に備える緊急医療情報カプセルを配付した。

- ・累計配付数 627 個

4 成年後見制度利用促進事業

栃木市成年後見サポートセンター委託事業

高齢者が自分らしく生活するため、高齢者の人権や権利擁護に関する相談に応じる栃木市成年後見サポートセンターの運営を栃木市社会福祉協議会に委託し、成年後見制度の普及や市民後見人の養成を行った。

(1) 権利擁護に関する相談業務

- ・新規相談件数 126件
- ・継続相談件数 60件

(2) 成年後見制度・市民後見人啓発事業講演会

市民の成年後見制度に対する正しい理解と適切な利用促進を図るため、成年後見制度・市民後見人啓発事業講演会を開催した。

- ・開催日 10月27日（日）
- ・開催場所 ゆったり～な（栃木市北部健康福祉センター）

- ・参加者数 70 人

(3) 市民後見人養成講座

身近な地域で暮らす市民が、障がいや認知症により判断能力が低下した方に寄り添った身上保護を行う、市民後見人の養成講座を開催した。

市民後見人養成講座フォローアップ実務編

- ・開催日 9 月 30 日、10 月 7 日、10 月 21 日、10 月 28 日
- ・受講者数 15 名

5 介護予防・生活支援サービス事業

要支援1及び要支援2の認定者並びに事業対象者に対して、要介護状態等になることを予防するための訪問型・通所型サービスを実施した。

- ・実施状況 (単位：円)

サービスの種類	事業費額
訪問介護相当サービス	44,211,698
緩和した基準による訪問型サービス	12,324,355
通所介護相当サービス	143,910,557
緩和した基準による通所型サービス	41,720,837
短期集中通所型サービス	3,015,600

併せて、介護予防・生活支援サービス事業所の指定等を行った。また、介護予防・生活支援サービスの適正利用に向けた事業所説明会を開催した。

6 はつらつセンター事業

高齢者が要介護状態になることを予防するため、委託を受けた団体（自治会等）が、地域住民の参加と協力のもとに、家に閉じこもりがちな高齢者に集まりの場を提供し、生きがいつくりや健康で元気に生活するための様々な活動を行う事業で、その運営費の一部を助成した。

- ・事業実施者 自治会等
- ・利用対象者 栃木市内に居住するおおむね 65 歳以上の方
- ・実施施設 地域の公民館、集会場、広場等
- ・実施内容 趣味・生きがい活動、教養講座・健康講座の開催、高齢者スポーツ活動、地域における交流活動等
- ・実施状況

	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
実施団体数（団体）	151	153	153
委託料（円）	17,116,000	18,186,169	19,728,000
実施回数（回）	19,659	19,000	18,832
参加延べ人数（人）	169,955	174,136	161,365

7 いきいきサロン事業

自宅に閉じこもりがちな高齢者の社会参加を促すことで介護状態になることを予防することを目的に、個人宅等の身近な場所で、お茶やおしゃべりを楽しめる居場所を提供するサロン開設者に対し運営費等の一部を補助した。

・実施状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業実施箇所数（箇所）	150	159	165
補助金額（円）	3,661,633	3,987,617	4,179,889

8 栃木市地域支え合い活動の推進

ひとり暮らしの高齢者や障がい者などを日頃から地域の身近な方々で見守る「地域支え合い活動」を推進することを目的に、支え合い活動対象者へ名簿登載調査を行い、支え合い活動対象者名簿を作成し、自治会へ名簿を提供した。

・提供数 8団体（11自治会）

（西水代上第3自治会、城内町大宿自治会、箱森西部自治会、万町三丁目自治会、箱森町東部自治会、中央町二丁目自治会、新里地域自治会連合会、新第1・2自治会）

9 成年後見制度利用支援事業

（1）審判の申立てに関する支援（市長申立）

認知症等により判断能力が十分でない高齢者について、老人福祉法第32条に基づき、後見開始の審判等の申立てを行った。

・申立件数 3件（後見開始2件、取下げ1件）

（2）後見人等報酬助成

成年被後見人等の生活状況から、後見人等の業務に対する報酬が支払えない場合に、報酬の全部又は一部を助成した。

・助成件数 5件

・助成額 980,000円

10 認知症総合支援事業

（1）認知症ケアパス作成

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、市民向けに情報を整理し、認知症の進行や状態に合わせて受けられる、医療・介護・福祉サービス等を示した冊子「認知症あんしんガイド」を作成し、関係機関に配布した。

（2）市民特別講座

認知症への理解を促進し、地域で見守り支え合う体制づくりの基礎とするため、市民公開講座を企画した。

・開催日 9月16日（月・祝）

・開催場所 とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）小ホール

・参加者数 250名

(3) 安心見守りカプセル配付事業

栃木市内に住所があり、認知症の症状を有し徘徊又は徘徊の恐れのある方に対し、救急時に必要な情報を携帯できるネックレス型及びキーホルダー型の安心見守りカプセルを配付した。

・配付数 8セット（総配付数 253セット）

(4) 認知症カフェ登録事業

高齢化とともに認知症高齢者が増加している中、認知症になっても住み慣れた地域で自立した生活ができるよう仲間づくりや生きがい支援、介護する家族の負担軽減等、認知症の人とその家族を支える地域づくりを進めるため、認知症カフェを開設する団体を登録した。

・認知症カフェ登録団体 19団体

（認知症カフェ八州苑、オレンジカフェ星風会おおひら、とちぎ・すけっとカフェ、ふれんどカフェ、おのでらカフェ、オレンジカフェおおひら、おれんじ喫茶うづま、おれんじ喫茶いずみ、おれんじ喫茶ふくじゅ、えぼつくカフェ、オレンジカフェにしかた、おれんじ喫茶ゆざわ、オレンジカフェ幸寿苑たかしまの郷、ほんわかカフェ、ほしかぜカフェ、あいあいカフェ、オレンジカフェちよこりハ、おれんじ喫茶コスモ、おれんじ喫茶このゆび☆と～まれ）

11 在宅医療・介護連携推進事業

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護が一体的に提供できる体制を構築するため、在宅医療・介護連携推進会議において在宅主治医・在宅協力医体制の構築や在宅医療・介護の専門職の連携ルールを協議した。

また、市民への在宅医療・介護の普及啓発のための講演会や多職種顔の見える関係を構築するための多職種研修会、事例検討・交流会の開催及び医療・介護・地域資源総合検索サイトの運用を行った。

(1) 在宅医療・介護連携推進会議

・開催回数 6回

・開催場所 下都賀郡市医師会 会議室

・委員数 22名

（医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、社会福祉士、看護師、理学療法士、作業療法士、介護支援専門員、訪問介護員、管理栄養士、栃木市消防本部職員、地域包括支援センター職員）

・主な検討事項 在宅主治医・在宅協力医体制の構築

在宅医療・介護の専門職の連携ルールの検討

市民向け講演会（シンポジウム）及び多職種研修会の企画・開催

(2) 栃木市在宅医療・介護連携推進事業シンポジウム

市民への在宅医療・在宅介護の普及啓発を図るため、医療・介護の専門職をパネリストとしたシンポジウムを開催した。

・開催日 1月26日（日）

- ・テーマ 　　いつまでも自分らしく暮らすために
～そもそもリハビリテーションって何？～
 - ・開催場所 　とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）
 - ・参加者数 　　200 人
- (3) 在宅医療・介護連携のための多職種研修会（在宅医療・介護セミナー）
- ・開催日 　　　①6 月 13 日（木） ②10 月 10 日（木）
 - ・開催テーマ 　①栃木市の在宅医療・介護を知り、連携しながらケアを提供する
②栃木市の在宅医療を知り、安心して在宅医療に取り組める
 - ・開催場所 　　下都賀郡市医師会 会議室（オンラインでも視聴可）
 - ・参加・視聴者数 ①92 人 ②124 人
- (4) 栃木市在宅医療・介護連携推進事業事例検討・交流会（あつまろ会）
- ・開催日 　　　①8 月 29 日（木） ②2 月 27 日（木）
 - ・開催テーマ 　①その人らしさを支えるってなに？
②多職種でケアプランを考えよう
 - ・開催場所 　　①大平公民館 ②とちぎメディカルセンターしもつが
 - ・参加者数 　　　①42 人 ②68 人
- (5) 医療・介護・地域資源総合検索サイト
- 市民が市内の医療機関・介護サービス事業所等の情報を手軽に検索できるよう、医療機関・介護サービス事業所等の情報を集約した医療・介護・地域資源総合検索サイトを構築するとともに、専門職専用の情報共有サイトを併設し、多職種間の連携強化を図った。

12 地域包括ケアシステム講座

栃木市全体での地域包括ケアシステムの構築を推進するため、市民を対象とした出前講座を実施し地域包括ケアシステムの普及啓発を図った。

- ・開催回数 　　　10 回
- ・延べ参加人数 　145 人

13 多機関の協働による包括的支援体制構築事業

福祉ニーズの多様化や地域コミュニティの希薄化が進む中で、複雑かつ複合的な課題を抱える世帯や制度の狭間の対象者に対し、横断的かつ包括的な相談支援体制を構築するとともに、既存の相談機関を活用した相談窓口の一体化（ワンストップ窓口）を図った。

(1) 栃木市福祉総合相談支援センターの設置（相談支援機関の連携強化）

＜構成相談機関＞

- ・地域包括支援センター（高齢者）
- ・福祉総務課（生活保護）
- ・障がい福祉課（障がい児者）
- ・障がい児者相談支援センター（障がい児者）
- ・高齢介護課（高齢者）

- ・健康増進課（成人）
- ・こども家庭センター（こども・保護者）
- ・子育て総務課（こども）
- ・地域子育て支援センター（こども）
- ・保育課（こども・保護者）
- ・学校教育課（こども・保護者）
- ・栃木市社会福祉協議会（地域福祉）
- ・とちぎ市くらしサポートセンター（生活困窮）
- ・成年後見サポートセンター（高齢者・障がい児者）

(2) 重層的支援会議の開催

- ・開催回数 6回（4月18日・6月27日・8月8日・10月17日・12月19日・2月20日）
（10月17日は書面開催、2月20日は研修会同時開催）

14 生活支援体制整備事業

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、生活支援コーディネーターを配置し、地域住民やボランティア、NPO 団体など様々な主体による多様な取組が利用できる地域づくりを推進した。

- ・生活支援コーディネーター配置人数
（第1層）1人（市内全域）
（第2層）8人（①～③栃木地域、④大平地域、⑤藤岡地域、⑥都賀地域、
⑦西方地域、⑧岩舟地域）

15 認知症にやさしいまちづくり事業

認知症の本人又はその家族が住み慣れた地域で安心・安全に生活することのできる環境を整備することを目的に、「認知症にやさしいまち・栃木市」の実現に向けた施策を実施した。

(1) 認知症高齢者等 S O S ネットワーク

認知症高齢者等が行方不明になった際に、市、警察、協力事業所、自治会、民生委員等登録協力機関に対し、システムを利用し、アプリ又はメールで捜査の協力を依頼した。

ア 使用システム メール連絡網

イ 認知症高齢者等 S O S ネットワーク協力機関登録件数（単位：件）

登 録	アプリ	メール	合計
栃木地域	126	37	163
大平地域	27	14	41
藤岡地域	22	5	27
都賀地域	19	7	26
西方地域	7	4	11

岩舟地域	27	5	32
合計	228	72	300

(2) 見守りシール

対象者の安否情報等をインターネット上で共有し、対象者の身元確認や家族への引渡しを円滑に行うため、QRコードが印刷された見守りシールを交付した。

・見守りシール交付者数 (単位：人)

地域	栃木	大平	藤岡	都賀	西方	岩舟	合計
R6 交付者数	19	6	3	2	0	4	34
交付者累計	77	35	8	9	1	14	144

(3) 認知症高齢者等個人賠償責任保険

認知症高齢者等が日常生活における偶然の事故により法律上の損害賠償責任を負った場合に、これを補償する個人賠償責任保険に市が契約者となって加入した。

・個人賠償責任保険加入者数 (単位：人)

地域	栃木	大平	藤岡	都賀	西方	岩舟	合計
R6 加入者数	22	5	4	4	0	5	40
現加入者数	40	13	6	4	0	9	72

※保険金の支払実績なし

栃木中央地域包括支援センター係	吹上地域包括支援センター係
国府地域包括支援センター係	大平地域包括支援センター係
藤岡地域包括支援センター係	都賀地域包括支援センター係
岩舟地域包括支援センター係	

1 地域包括支援センター設置状況

栃木中央地域包括支援センター	栃木市万町 9-25	市役所 2 階
吹上地域包括支援センター	栃木市吹上町 782-1	吹上公民館内
< 皆川地区包括支援センター	栃木市皆川城内町 699	皆川公民館内 >
< 寺尾地区包括支援センター	栃木市梅沢町 1183	寺尾公民館内 >
国府地域包括支援センター	栃木市惣社町 228-1	国府公民館内
< 大宮地区包括支援センター	栃木市大宮町 422-1	大宮公民館内 >
大平地域包括支援センター	栃木市大平町富田 558	大平総合支所内
藤岡地域包括支援センター	栃木市藤岡町藤岡 1022-5	藤岡総合支所内
都賀地域包括支援センター	栃木市都賀町原宿 573	都賀総合支所内
< 西方地域包括支援センター	栃木市西方町本城 1	西方総合支所内 >
岩舟地域包括支援センター	栃木市岩舟町静 5133-1	岩舟総合支所内

※ < > は地域包括支援センターを補完するサブセンター。

2 一般介護予防事業

(1) 介護予防普及啓発事業

65歳以上の高齢者を対象に、生活機能の維持・向上を図るため介護予防に関する各事業を実施した。

ア 単発教室

(国府) 転倒予防のちょいトレ教室

(都賀) 低栄養予防、介護保険・高齢者サービスについて、オーラルフレイル予防、フレイル予防体操

イ 複合型(運動・栄養・口腔機能向上・認知症予防)教室

(栃木中央) 健康寿命のびのび教室

(吹上) 元気アップ教室

(国府・大宮) いきいき元気教室

(藤岡) フレッシュ・シニア教室

(岩舟) 元気もりもり教室

ウ 脳活教室(認知症予防教室)

認知症を予防するための正しい知識を認識し、予防に有効とされる日常生活における取組ができるよう支援し、認知症への移行や要介護状態への進行防止を図ることを目的に教室を各地域包括支援センターにおいて開催した。内容はタブレットを使用した認知機能チェック(4会場)、認知症講話、運動、栄養、口腔の視点から指導し、参加者の行動変容を促すプログラムとした。

エ 教室実施状況

	栃木中央		吹上		国府		大平	
	回数 (回)	延人数 (人)	回数 (回)	延人数 (人)	回数 (回)	延人数 (人)	回数 (回)	延人数 (人)
単発教室	0	0	11	207	7	132	0	0
複合型	4	66	8	59	8	231	9	131
脳活教室	5	90	4	45	3	28	9	153
	藤岡		都賀		岩舟		合計	
	回数 (回)	延人数 (人)	回数 (回)	延人数 (人)	回数 (回)	延人数 (人)	回数 (回)	延人数 (人)
単発教室	0	0	4	49	19	217	41	605
複合型	6	82	0	0	4	57	39	626
脳活教室	3	47	3	49	4	37	31	449

(2) 出前講座・その他

ア 出前講座

「今日からさっそく介護予防」「認知症を予防しよう!」「認知症サポーター養成講座」の出前講座の開催とその他、健康講演会や健康福祉まつりにおいて普及啓発活動を行った。

イ その他

地区社協との連携事業、公民館・老人福祉センター・自治会等との共催事業、介

護保険事業所からの依頼、健康まつり、健康講演会等

ウ 教室実施状況

	栃木中央		吹上		国府		大平	
	回数 (回)	延人数 (人)	回数 (回)	延人数 (人)	回数 (回)	延人数 (人)	回数 (回)	延人数 (人)
今日から早速介護予防	11	186	0	0	0	0	1	13
認知症を予防しよう！	3	75	0	0	1	13	5	70
認知症サポーター養成講座	11	275	1	21	4	58	10	125
その他	1	50	1	45	0	0	12	873
	藤岡		都賀		岩舟		合計	
	回数 (回)	延人数 (人)	回数 (回)	延人数 (人)	回数 (回)	延人数 (人)	回数 (回)	延人数 (人)
今日から早速介護予防	0	0	0	0	1	18	13	217
認知症を予防しよう！	1	10	0	0	0	0	10	168
認知症サポーター養成講座	8	270	2	25	5	85	41	859
その他	1	189	0	0	1	48	16	1,205

(3) 地域介護予防活動支援事業

高齢者の身近な地域で住民が主体的に介護予防に取り組んでいけるよう、地域活動の支援を目的とした介護予防事業を実施した。

ア 単発教室

(栃木中央) 元気もりもり教室

(国府) シニアクラブ運動講座

(都賀) 低栄養予防教室、介護保険、高齢者サービスについて、オーラルフレイル予防教室、フレイル予防体操

イ 複合型教室

(国府) はつらつ元気教室

(大平) シニア健康応援講座

(藤岡) フレッシュ・シニア教室

ウ 教室実施状況

	栃木中央		吹上		国府		大平	
	回数 (回)	延人数 (人)	回数 (回)	延人数 (人)	回数 (回)	延人数 (人)	回数 (回)	延人数 (人)
単発教室	4	77	2	24	1	40	0	0
複合型	0	0	0	0	3	25	6	49
	藤岡		都賀		岩舟		合計	
	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数

	(回)	(人)	(回)	(人)	(回)	(人)	(回)	(人)
単発教室	0	0	4	31	0	0	11	172
複合型	10	107	0	0	0	0	19	181

(4) 活動支援

ア 地区組織活動支援

(栃木中央) 栃木県シルバー大学校南校学生へ高齢者の健康づくりについて紹介
(吹上・寺尾・皆川) はつらつセンター、シニアクラブへ熱中症予防、健康に関する情報提供、地区社協・ふれあい相談員へ訪問時のポイント等について講話
(国府) いきいきサロンにじ色カフェ・南部サロン（多世代型交流サロン）
(大平) 栃木県シルバー大学校南校大平支部への高齢者保健事業紹介
(藤岡) はつらつセンター・いきいきサロン・地域座談会等
(都賀) はつらつセンター・いきいきサロンへ加齢性難聴、ヒートショック、脳卒中予防について講話
(岩舟) 協議体活動支援として、静和わがまるカフェ、小野寺北かるた大会への支援

- ・実施回数 59 回
- ・活動支援数（延人数）1,334 人

イ 自主グループ活動支援

(吹上) ひまわり会
(藤岡) チームはつらつ、なのはなクラブ

- ・実施回数 5 回
- ・活動支援数（延人数）17 人

ウ ますます元気サポーター活動支援

地域において活動する介護予防ボランティアを養成するとともに、市全域で活動支援を行った。また、情報交換及びサポーターのスキルアップを目的とした地区別研修会、ボランティア同士の交流や情報交換を目的とした全体会を開催した。

- ・サポーター活動数（実人数）

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
サポーター数(人)	17	14	22	49	17	14	42	175

- ・サポーター活動状況
実施回数 3,836 回 活動数（延人数）4,209 人

- ・サポーター活動支援
実施回数 104 回

- ・ますます元気サポーター養成講座（参加状況）

	回数（回）	実人数（人）	延人数（人）
基礎講座	3	16	64
スキルアップ講座	7	-	85

- ・ますます元気サポーター全体会

参加者数 43 人

内容 サポーターによるレクリエーション紹介、交流等

エ あったかもちぎ体操

地域住民が主体となって取り組むことができる「あったかもちぎ体操」の普及啓発を行うとともに、実施希望団体に対して継続して実施できるよう運営協力を行った。

・実施団体 105 団体

・実施状況

	回数（回）	実人数（人）	延人数（人）
あったかもちぎ体操 出前講座	8	-	121
あったかもちぎ体操 団体活動状況	3,938	1,404	38,568
あったかもちぎ体操 団体活動支援	304	-	3,155

3 介護予防ケアマネジメント事業

要支援者等が、可能な限り地域において自立した日常生活ができるよう支援した。

・要支援 1・2 の介護予防サービス計画作成状況（単位：件）

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
事業者委託	2,753	936	904	1,830	1,193	795	1,424	9,835
地域包括支援センター作成	277	0	63	99	147	23	96	705
計	3,030	936	967	1,929	1,340	818	1,520	10,540

・総合事業による介護予防ケアマネジメント作成状況（単位：件）

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
事業者委託	1,975	490	606	536	278	504	525	4,914
地域包括支援センター作成	509	36	58	78	20	35	1	737
計	2,484	526	664	614	298	539	526	5,651

・相談業務実施状況（単位：件）

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
申請時相談	177	109	17	52	106	298	91	850
契約等訪問	202	47	72	93	56	59	71	600
モニタリング訪問	405	25	50	178	42	53	44	797
ケアマネ支援	236	264	206	185	175	214	173	1,453

・サービス担当者会議実施状況（単位：回）

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
地域包括支援センター主催及び委託事業所実施への参加	592	130	199	257	61	120	92	1,451

・住宅改修・福祉用具購入理由書作成状況 (単位：件)

	栃木 中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
福祉用具	15	0	0	4	0	0	0	19
住宅改修	31	7	4	2	11	7	2	64

4 総合相談支援事業

高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、関係者との連携に努めながら、高齢者の心身状況や生活実態を把握し相談支援を行った。

・実施状況 (単位：件)

	栃木 中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
面接	807	237	425	792	251	364	192	3,068
電話	1,112	834	747	1,132	527	1,173	1,568	7,093
家庭訪問	787	223	347	344	149	308	217	2,375
メール	14	2	0	0	4	0	2	22
計	2,720	1,296	1,519	2,268	931	1,845	1,979	12,558

・認知症相談状況（総合相談事業からの再掲・実） (単位：件)

	栃木 中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
認知症に関すること	139	37	92	93	9	149	87	606

総合相談の内訳として、認知症に関する内容が一番多い。

5 権利擁護事業

地域住民、民生委員、介護支援専門員等の支援だけでは問題解決できない状況にある高齢者に対し、尊厳ある生活ができるよう権利擁護のための専門的・継続的な支援を行い、成年後見制度の活用促進、消費者被害の防止、老人福祉施設等への措置の支援、高齢者虐待への対応、困難事例への対応等を行った。

・実施状況（総合相談事業からの再掲・実） (単位：件)

	栃木 中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
権利擁護に関すること	19	4	7	25	12	11	4	82
高齢者虐待に関すること	24	6	9	14	12	10	5	80
消費者被害に関すること	4	1	0	3	0	0	0	8
介護家族者離職防止に関すること	0	0	0	0	0	0	5	5

・虐待ケース会議実施状況

(単位：件)

		栃木 中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
虐待ケース 会議	実件数	5	7	3	6	6	2	4	33
	延件数	14	19	7	11	13	2	6	72
会 議 内 訳 (複数項目有)	身体	3	6	2	4	5	-	1	21
	放棄	1	1	1	-	-	-	-	3
	心理	1	1	1	2	1	1	2	9
	経済	-	1	-	1	1	1	-	4
	その他	-	-	-	-	-	-	1	1

6 包括的継続的ケアマネジメント支援事業

(1) 地域における多職種の連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援等を行った。

ア 介護支援専門員事例検討会開催状況（各地域包括支援センター）

事例検討会 5回 参加者数 70人

イ 介護支援専門員研修交流会開催状況（各地域包括支援センター）

研修交流会 2回 参加者数 110人

・関係機関との連携状況(相談支援)

(単位：件)

	栃木 中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
ケアマネ支援	234	211	73	239	226	175	101	1,259
民生委員	75	69	80	74	21	195	42	556
関係機関	263	104	290	317	245	544	188	1,951

・関係機関との連携状況(会議)

(単位：回)

	栃木 中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
民生委員	7	12	6	4	1	2	2	34
関係機関	94	42	29	15	18	4	24	226
個別ケース検討会議	9	1	0	0	3	0	1	14
圏域別地域ケア会議	9	5	5	6	5	3	47	80

(2) 生活援助ケア会議

生活援助の回数の多いケアプランとして届出のあったものを、生活援助ケア会議に付議し、多職種で自立支援・重度化防止に向けた検討・助言等を行う。

会議開催回数 0回（対象となるケアプランがなかったため）

【構成員】

- ・助言者：薬剤師、リハビリ専門職、管理栄養士、栃木市社会福祉協議会
- ・事例提供者：居宅介護支援事業所介護支援専門員、介護サービス提供事業者
- ・参加者：介護保険係・地域包括支援センター担当者等

(3) 自立支援検討会議

高齢者の自立支援・介護予防の観点から踏まえて、要支援者等の生活行為の課題の解決等、状態の改善を導き自立を促すとともに生活の質(QOL)の向上を目指すため、多職種で検討・助言等を行った。

・実施状況

北部会場(栃木市役所) 12回(24件)

南部会場(大平総合支所) 7回(14件)

【構成員】

- ・助言者：医師、歯科医師、歯科衛生士、薬剤師、リハビリ専門職、管理栄養士、栃木市社会福祉協議会
- ・事例提供者：居宅介護支援事業所介護支援専門員、地域包括支援センターケアプラン作成担当者、介護サービス提供事業者
- ・参加者：地域包括支援センター担当者等

7 認知症総合支援事業

(1) 認知症サポーター養成事業

認知症に関する正しい知識を持ち、地域や職域において認知症の人や家族を支援する認知症サポーター養成講座を開催し、認知症となっても安心して暮らせる地域づくりを推進した。

・実施状況(市全体)

対 象	回数	参加数(人)	内 訳
市職員	2	48	新採用職員研修・資質向上研修
一般市民	41	859	自治会、はつらつセンター、小・中学校、民生委員、学童保育、金融機関、施設、企業、事業所等
計	43	907	

・実施状況(一般市民)

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
回数(回)	11	1	4	10	8	2	5	41
参加人数(人)	275	21	58	125	270	25	85	859

(2) あったかもちぎ・みんなのつどいの開催

市全域で実施する認知症の取組として、認知症の講話、座談会、家族介護者との交流等を組み合わせた「あったかもちぎ・みんなのつどい」を開催した。

・開催日時・会場

会 場	1 回 目	2 回 目
-----	-------	-------

栃木会場：きららの杜とちぎ蔵の街楽習館	11月20日	11月29日
大平会場：ふるさとふれあい館	11月19日	11月26日
西方会場：北部健康福祉センター	11月15日	11月22日

- ・参加者数 1回目：51人 2回目：50人
- ・内容 認知症サポーター養成講座、座談会、認知症の介護体験談、認知症初期集中支援専門員による相談、認知症関連図書紹介、認知症支援等サービス情報提供

(3) 認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業

ア 認知症カフェ活動支援

認知症の方や家族、地域住民、医療、介護の専門職等、地域の誰もが参加できる集いの場で、認知症の方が地域住民と一緒に活動することができるよう、認知症カフェの立ち上げ支援や活動支援を行った。

- ・認知症カフェ数 20か所
- ・認知症カフェ活動支援回数 133回

イ チームオレンジ活動支援

認知症の方や家族の支援ニーズを把握して必要な支援につなぐ、認知症サポーターを中心に活動するチームオレンジの立ち上げ支援や活動支援を行った。

- ・チームオレンジ数 5団体
- ・チームオレンジ活動支援回数 99回

ウ とちぎオレンジまち活フェスタの開催

市民認知症サポーターが、認知症の人やその家族を地域で支える活動をPRし、参加者と共に認知症に関する正しい知識を学ぶ認知症普及啓発イベントを開催した。

・実施状況

開催日時 9月26日	内容
第1会場 栃木市大平文化会館	・参加者数計 180人 ・市民認知症サポーター活動紹介・認知症セミナー・認知症サポーター養成講座PR・オレンジまち活頑張ろう！宣言
第2会場 栃木市大平図書館	・参加者数計 200人 ・若年性アルツハイマーを描いた映画上映会「私の頭の中の消しゴム」 ・大平図書館認知症普及啓発特設コーナー設置 ・障がい者福祉施設自主製品販売

8 認知症初期集中支援推進事業

(1) R6の取組状況

ア 初期集中支援専門員による支援の流れ及び帳票の整備

イ 地域包括支援センター、医療機関、介護支援専門員との連携

ウ 支援計画に基づいた初期集中支援の実施

エ チーム員会議の開催（2回）

オ もの忘れ相談（12回）

・相談者数：27名

カ サポート医との懇談会（1回）

開催日	令和7年3月18日（水）
参加者数	30名 サポート医9名、専門医1名、医療機関関係者3名、認知症地域支援推進員等17名
テーマ	「認知症初期集中支援事業と医療連携」

キ 認知症関連イベントへの参加協力 29回

(2) 認知症初期集中支援事業

認知症の人や疑いのある人及びその家族の初期支援を行う認知症初期集中支援専門員として保健師・看護師を配置し、支援対象者の状態に合わせた医療・介護サービスの適切な利用に向けて包括的・集中的に支援した。

・相談受理状況（単位：件）

総数		支援継続中	終了
前年からの継続	21	11	80
新規（新規、再相談）	70		
単発相談	40		
合計	131		

10 地域自立支援事業（24時間通報体制）

高齢者のいる世帯の家庭内事故等による通報に随時対応するため、地域包括支援センターの夜間等の対応について、市内の医療法人及び社会福祉法人に相談業務を委託した。

・実施状況（単位：件）

	栃木 中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
委託先への相談 件数	86	12	32	44	3	0	3	180
内、地域包括支 援センター対応 件数	8	1	6	33	3	0	2	53

11 母子保健事業（各総合支所の地域包括支援センターにて実施）

こども家庭センターが担当する母子保健事業への協力として、お誕生連絡表の確認と受理、及びベビーバスの貸出業務を行った。